

カシノナガキクイムシ(カシナガ)県民調査にご協力を

NPO法人いろいろ生きものネット埼玉

はじめに

令和元年9月にコナラ類の害虫“カシノナガキクイムシ”の被害が、新座市にて確認されました。その後被害は広がり令和3年8月18日現在、新座市、さいたま市、志木市、川口市、狭山市、川越市、所沢市、入間市、飯能市、上尾市、三芳町和光市、東松山市でもナラ枯れが確認されています。(埼玉県HPより)

今後も被害が拡大することが予想されており、県内の被害状況を把握するために県民参加による調査を実施したいと思います。調査結果は、埼玉県、さいたま緑のトラスト協会、環境科学国際センターと共有して、今後の対策に活用する予定です。

皆様方の御協力をお願いいたします。

・調査参加者 どなたでも参加可能です。

・調査期間 調査期間 令和3年11月30日(火)まで。(カシナガの活動が収まる時期です)

・調査方法 埼玉県内の公園や緑地等にあるコナラ、クヌギを主な対象として調査します。

以下の発見のポイントや写真を参考に、根元や幹に出ているフラス(木くず)を探し、裏面のように結果を報告してください。カシノナガキクイムシが発生していないという情報も重要です、フラスが見つからない場合も同様に報告していただければ幸いです。

埼玉県のサイトでも「カシノナガキクイムシ情報」を公開していますのでご参照ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0905/kasnaga.html>

◆ カシノナガキクイムシ発見のポイント ◆

- ① 葉の変色 7月下旬頃から葉が萎れて茶色くなります。
- ② フラス(木くず) 根元から2~3m程度まで繊維状、粒状、粉状のフラス(木くず)が見られます。
- ③ 穴の大きさ フラスが出ている所に直径1.4~1.8mm程度の穿入孔が見られます。
★確認方法：次ページを印刷して半分に折り、「カシナガスケール」で穴の大きさを調べてください。
- ④ 樹種 埼玉県での被害木はコナラ、クヌギが中心です。
- ⑤ その他 明るい場所(木の明るい側)にある大径木を好む傾向があります。



穴が大きい → カシノナガキクイムシ



穴が小さい → ヨシブエナガキクイムシ

フラスの種類



繊維状(雄)と団粒状(雌)のフラス



粉状(幼虫)のフラス

カシナガの大きさ



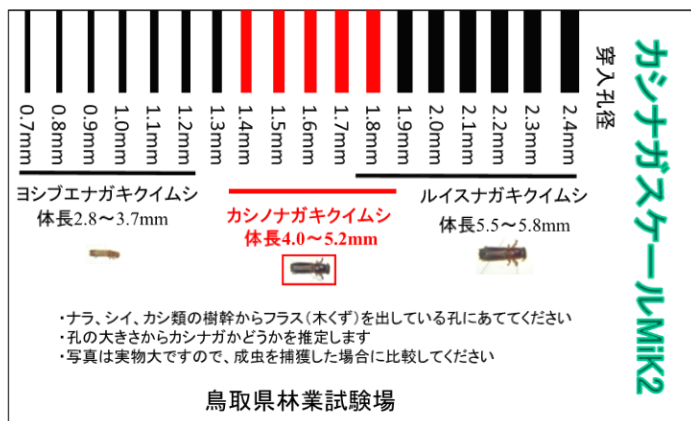
大きさは約 5mm, 小さいのはよく似たヨシブエナガキクイムシ

拡大写真



雄

雌(背中に窪み)



鳥取県林業試験場作成
カシナガスケール

ナラ枯れの起こる仕組み

カシナガキクイムシが樹木に穿入して、雌の背中の窪みに付着したナラ菌(カビの一種)を感染させます。ナラ菌が内部で繁殖して樹木の水を吸い上げる機能を阻害することで、木が弱り枯れていきます。

なお、カシナガは木を食べて生きているのではなく、同時に持ち込んだ酵母菌を繁殖させこれを食べています。

★報告先 iinenet.saitama@gmail.com

★報告内容

- ①確認日 2021年〇月●日
- ②確認者〇〇〇〇
- ③確認場所(〇〇市〇〇町, 〇〇公園等)
- ④結果 フラスの出ている木〇〇本, 枯れている木××本 わかれば樹種(コナラ, クヌギ等)
- ⑤気づいたこと等
- ⑥できれば写真もお送りください

- 記載例
- ① 2021年8月22日
 - ② 〇〇〇〇
 - ③ 上尾市日の出, さいたま水上公園の林
 - ④ フラスの出ている木70本, 枯れている木30本
 - ⑤ 樹液の出ている木よりも樹液の出ていない木の方が多く枯れていた。